

平成22年4月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年9月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 共和工業所

コード番号 5971 URL <http://www.kyowakogyosyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 徹

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 笠本 廣業

TEL 0761-21-0531

四半期報告書提出予定日 平成21年9月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年4月期第1四半期の業績(平成21年5月1日～平成21年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年4月期第1四半期	1,024	△65.5	△174	—	△115	—	△41	—
21年4月期第1四半期	2,967	—	494	—	506	—	300	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年4月期第1四半期	△6.17	—
21年4月期第1四半期	44.26	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年4月期第1四半期	8,562	6,667	77.9	981.43
21年4月期	9,051	6,744	74.5	992.70

(参考) 自己資本 22年4月期第1四半期 6,667百万円 21年4月期 6,744百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年4月期	—	0.00	—	15.00	15.00
22年4月期	—	—	—	—	—
22年4月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年4月期の業績予想(平成21年5月1日～平成22年4月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	2,200	△63.3	△390	—	△330	—	△200	—	△29.44
通期	6,200	△28.8	△60	—	2	△99.7	1	△99.7	0.15

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年4月期第1四半期	6,800,000株	21年4月期	6,800,000株
---------------------	-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数	22年4月期第1四半期	6,187株	21年4月期	6,187株
-----------	-------------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年4月期第1四半期	6,793,813株	21年4月期第1四半期	6,793,813株
--------------------	-------------	------------	-------------	------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間における我が国経済は、昨年からの世界的な金融危機の影響により、株式相場の低迷、為替の円高傾向の推移によって、企業収益や雇用情勢が悪化し厳しい状況が続いております。その結果、当社におきましても、当社の主力である建設機械向け製品の需要は、全世界的に需要が減少し、取引先の在庫調整が続いていることから、受注環境は依然として厳しい状態が続いております。

当第1四半期会計期間は、売上高は10億24百万円（前年同期比65.5%減、19億43百万円減）、経常損失1億15百万円（前年同期は経常利益5億6百万円）、四半期純損失41百万円（前年同期は四半期純利益3億円）となりました。

主要な部門別の概況は以下のとおりであります。

「建設機械部門」

建設機械部門の売上高は、国内売上6億35百万円（前年同期比70.7%減、15億34百万円減）、海外売上94百万円（前年同期比63.8%減、1億66百万円減）となりました。

当社の主力である建設機械向け製品は、世界的な不況により国内及び海外向けにおきましても受注が減少し前年同期を下回りました。

当部門は、景気刺激策の効果が出てきている中国において回復の兆しがありますが、その他の地域では先行き不透明感が続いております。

「自動車関連部門」

自動車関連部門の売上高は2億16百万円（前年同期比31.4%減、99百万円減）となりました。

自動車業界の販売不振が影響しました。この業界は徐々に回復基調が見受けられ期待しております。

「産業機械部門」

産業機械部門の売上高は、20百万円（前年同期比79.4%減、78百万円減）となりました。

当部門も製造業の設備投資の抑制により、内外需要の減少が影響しました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の財政状態は、総資産は85億62百万円となり、前事業年度末と比して4億88百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は39億58百万円となり、現金及び預金が前事業年度末に比して1億15百万円減少、売上減少による受取手形及び売掛金が前事業年度末に比して2億42百万円の減少したことにより、前事業年度末と比して3億36百万円減少しました。固定資産は46億3百万円となり、有形固定資産が37億33百万円となり前事業年度末と比して1億68百万円減少、投資その他の資産は8億62百万円となり前事業年度末と比して16百万円増加したことにより、前事業年度末と比して1億52百万円減少しました。

負債の部では、流動負債は11億8百万円となり、設備関係支払手形、設備未払金等の減少により、前事業年度末と比して3億90百万円の減少となりました。固定負債は7億86百万円となり、長期借入金の減少等により、前事業年度末と比して21百万円の減少となりました。

純資産の部は、別途積立金の増加、繰越利益剰余金の減少により、66億67百万円となり、前事業年度末と比して76百万円減少しました。以上により自己資本比率は77.9%となり3.4ポイント増加しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の四半期末残高は7億18百万円となり、前事業年度末に比較して1億65百万円減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前四半期純損失 87 百万円を計上しましたが、一方で減価償却費 1 億 62 百万円、売上減による売上債権の減少 2 億 42 百万円などを計上したことを主な要因として、営業活動により 3 億 81 百万円の資金を得ました (前年同期比 4 億 91 百万円の収入増)。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得に 3 億 89 百万円充当したことから、投資活動により 3 億 94 百万円の資金を要しました (前年同期比 99 百万円の支出減)。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払に 1 億 2 百万円、長期借入金の返済に 49 百万円の資金を充当したことから、財務活動により 1 億 52 百万円の資金を要しました (前年同期比 52 百万円の支出増)。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成 22 年 4 月期の業績予想につきましては、平成 21 年 6 月 10 日に発表しました第 2 四半期累計期間および通期の業績予想の数値から変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

① たな卸資産の評価方法

たな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

表示方法の変更

(四半期貸借対照表関係)

前第 1 四半期会計期間において、固定資産の有形固定資産「その他 (純額)」に含めて表示しておりました「建物 (純額)」は、資産総額の 100 分の 10 を超えたため、当第 1 四半期会計期間より区分掲記することとしました。なお、前第 1 四半期会計期間の固定資産の有形固定資産「その他 (純額)」に含まれる「建物 (純額)」は 465,389 千円であります。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年7月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,798,796	1,914,315
受取手形及び売掛金	1,125,636	1,367,885
有価証券	258,312	207,067
商品及び製品	157,720	186,461
仕掛品	128,226	86,052
原材料及び貯蔵品	147,731	137,193
その他	342,340	396,266
流動資産合計	3,958,764	4,295,242
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	933,174	944,963
機械及び装置（純額）	1,876,326	1,957,352
その他（純額）	924,325	1,000,003
有形固定資産合計	3,733,826	3,902,319
無形固定資産		
投資その他の資産	7,834	7,951
投資有価証券	702,923	637,473
その他	180,098	229,212
貸倒引当金	△20,892	△20,892
投資その他の資産合計	862,128	845,794
固定資産合計	4,603,789	4,756,065
資産合計	8,562,554	9,051,307
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	575,458	584,580
未払法人税等	1,320	—
賞与引当金	64,002	124,041
その他	467,370	789,865
流動負債合計	1,108,151	1,498,486
固定負債		
長期借入金	300,660	333,920
退職給付引当金	160,294	169,467
役員退職慰労引当金	222,602	249,197
その他	103,182	56,017
固定負債合計	786,739	808,602
負債合計	1,894,891	2,307,089

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年7月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	592,000	592,000
資本剰余金	464,241	464,241
利益剰余金	5,422,002	5,565,841
自己株式	△5,332	△5,332
株主資本合計	6,472,911	6,616,750
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	194,751	127,467
評価・換算差額等合計	194,751	127,467
純資産合計	6,667,662	6,744,218
負債純資産合計	8,562,554	9,051,307

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)
売上高	2,967,862	1,024,557
売上原価	2,203,423	1,045,305
売上総利益又は売上総損失(△)	764,439	△20,748
販売費及び一般管理費	269,977	153,894
営業利益又は営業損失(△)	494,461	△174,643
営業外収益		
受取利息	2,382	2,368
受取配当金	7,799	6,828
助成金収入	—	39,842
その他	2,062	12,028
営業外収益合計	12,244	61,067
営業外費用		
支払利息	—	1,505
営業外費用合計	—	1,505
経常利益又は経常損失(△)	506,706	△115,080
特別利益		
貸倒引当金戻入額	334	—
役員退職慰労引当金戻入額	—	27,359
補助金収入	—	63,800
特別利益合計	334	91,159
特別損失		
固定資産除却損	118	50
固定資産圧縮損	—	63,800
特別損失合計	118	63,850
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	506,922	△87,771
法人税、住民税及び事業税	140,020	579
法人税等調整額	66,221	△46,419
法人税等合計	206,241	△45,839
四半期純利益又は四半期純損失(△)	300,681	△41,931

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	506,922	△87,771
減価償却費	88,936	162,322
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△105,710	△60,039
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△334	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,149	△9,172
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	13,512	△26,595
受取利息及び受取配当金	△11,079	△9,197
支払利息	—	1,505
固定資産除却損	118	50
固定資産圧縮損	—	63,800
補助金収入	—	△63,800
売上債権の増減額 (△は増加)	△229,558	242,248
たな卸資産の増減額 (△は増加)	6,589	△23,970
仕入債務の増減額 (△は減少)	54,675	△9,121
その他	43,654	129,024
小計	365,576	309,283
利息及び配当金の受取額	11,310	9,694
利息の支払額	—	△1,439
補助金の受取額	—	63,800
法人税等の支払額	△487,055	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△110,167	381,338
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,000	△30,000
定期預金の払戻による収入	30,000	30,000
有形固定資産の取得による支出	△487,969	△389,482
投資有価証券の取得による支出	△4,373	△3,843
その他	△1,401	△1,235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△493,744	△394,561
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△49,890
配当金の支払額	△99,748	△102,405
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,748	△152,295
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△703,660	△165,518
現金及び現金同等物の期首残高	1,533,076	884,315
現金及び現金同等物の四半期末残高	829,415	718,796

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

販売実績

当第1四半期会計期間の販売実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

部 門	当第1四半期会計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)	前年同四半期比 (%)
建設機械 (千円)	730,157	30.0
自動車関連 (千円)	216,477	68.6
産業機械 (千円)	20,461	20.6
その他 (千円)	57,460	47.3
合計 (千円)	1,024,557	34.5

- (注) 1. 金額は販売価格によります。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 前第1四半期会計期間及び当第1四半期会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期会計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年7月31日)		当第1四半期会計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
(株)小松製作所	592,531	20.0	217,732	21.3
コマツ物流(株)	457,439	15.4	89,788	8.8

以上